

特定非営利活動法人静岡情報産業協会 2021 年度通常総会次第

日時:2021 年 5 月 21 日(金)15 時～17:00

会場:静岡商工会議所会館 5 階ホール

第1部 通常総会

1. 議 事 15:00～15:40

- (1) 開 会
- (2) 理 事 長 挨 拶
- (3) 議 長 選 出
- (4) 議事録署名人選出
- (5) 議 案
第 1 号議案 2020 年度事業報告及び決算報告承認の件
第 2 号議案 2021 年度事業計画(案)及び事業予算(案)承認の件
第 3 号議案 役員選任の件
- (6) SIIA「アクションプラン」発表
- (7) 閉 会

第2部 記念講演 15:50～17:00

演 題 :「地方創生テレワーク推進に向けて」

講 師 :野村 栄悟 氏(内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局参事官)

第1部 通常総会 議 案

第1号議案 2020年度事業報告及び決算報告

I. 2020年度事業報告

自:2020年4月1日

至:2021年3月31日

1. 2020年度の活動は、前期に引き続き会員各社の社員で構成する3事業部会を更に充実させ、そのメンバーの活発な活動により以下の事業を企画運営した。

(1) 人材育成・教育研修事業（新技術普及促進・教育研修事業・情報化支援事業）

- ① 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」の「デザインパターン入門編」を開講した。(参加:10名)

講 師:塩見彰睦氏(静岡大学教授)、野口靖浩氏(同講師)

実施日:2020年8月20日~22日(3日間)

会 場:静岡大学教室

収 入:300,000円 (他にJISA補助金300,000円)

支 出:600,000円

- ② 静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」の「テスト設計とテスト駆動開発入門編」を開講した。(参加:10名)

講師/会場:第①項と同じ

実施日:2020年9月10日~12日(3日間)

収入/支出:第①項と合算

- ③ 新型コロナウイルスの感染拡大により急速に進展したテレワークに、コミュニケーション課題があることをとらえ、第1回「ベンダー編」としてウェブセミナーを実施した。(参加:25名)

講 師:小豆川裕子氏(常葉大学経営学部准教授)

実施日:2020年9月4日

会 場:Webexによるウェブセミナー

支 出:60,000円

- ④ 新型コロナウイルスの感染拡大により急速に進展したテレワークの課題にコミュニケーションの問題とともに働き方の環境にも課題があることをとらえ、第2回「働き方改革編」としてウェブセミナーを実施した。

(参加:18名)

講 師:小豆川裕子氏(常葉大学経営学部准教授)

実施日:2020年9月4日

会 場:Webexによるウェブセミナー

支 出:60,000円

- ⑤ 本格的な産業における利活用の時代を迎えようとしているドローンの世界では、ソフトウェアエンジニアの需要も高まっており、また技術者不足とも言われている。そこでドローンの現状から近未来を展望し、そこに求められる技術、特にソフトウェアエンジニアリングをテーマにウェブセミナーを実施した。(参加:16名)

講 師:田村 博氏(静岡理工科大学工学部特任講師)

実施日:2021年1月20日

会 場:Webexによるウェブセミナー

支 出:60,000円

- ⑥ 高校生に対する IT 業界の現状や就職をめざすための現場の声や情報を提供する「IT 交流会」をオンラインで開催した。(参加:高校 10 名、SIIA5 名)
進 行:SIIA 人材開拓推進部会
参加者:(学校)静岡県立島田商業高等学校情報科生徒 2 名、教諭 2 名
(SIIA)人材育成教育研修部会 4 名、運営委員長
実施日:2021 年 3 月 16 日
会 場:Webex によるオンライン会議

- ⑦人材開拓推進部会主催「人材採用と柔軟な働き方に向けたテレワークの活用事例セミナー」に協賛参加
実施日:2020 年 12 月 10 日
会 場:Webex によるウェブセミナー

(2) ビジネス・マッチング事業 (産業再生・創出支援事業)

- ① コロナ禍にあって ICT の分野でも急速な変容を見せている中で、静岡市が推進する ICT 戦略の現状と地域 ICT 企業に求められる期待について、行政の ICT 部門担当者からの声を伺う機会を設け「静岡市の ICT 戦略と地域の ICT 企業に求めること」をテーマにセミナーを実施した。(参加:21 名)
実施日:2020 年 8 月 4 日
会 場:Webex によるウェブセミナー

- ② 本年度事業計画「商工会議所と連携して小規模事業者向けアプリ開発の試行」を実現するため、昨年度から開催してきたアプリ開発の勉強会「Kintone Café」を年間 3 回開催して、部会メンバー及び外部からの参加者により、実際にアプリ開発の実習を行った。
実施日:①2020 年 11 月 24 日、②12 月 18 日、③2021 年 1 月 28 日
会 場:①コワーキングスペース「=ODEN」、②&③Webex によるオンライン開催
支 出:18,000 円(Kintone 使用年間アカウント、会場費)

- ③ 人材開拓推進部会主催「人材採用と柔軟な働き方に向けたテレワークの活用事例セミナー」に協賛参加
実施日:2020 年 12 月 10 日
会 場:Webex によるウェブセミナー

(3) 人材開拓推進事業 (人材育成事業)

- ① ICT 業界を目指す就活生の応援プログラムとして、「Web 上で開催する会社説明会」を静岡新聞 SBS 企画による「新卒のかんづめ 2022」に参加して実施した。
収録された内容は、収録日と以後 2021 年 3 年 9 月末までの間、ウェブ配信され、結果として新型コロナウイルスにより会社訪問などができなくなった期間、常時視聴可能なこの方式が、学生並びに大学関係者から高い評価を得た。(参加:7 社/8 枠)
実施日:2020 年 10 月 20 日(以後、2021 年 3 年 9 月末までウェブ配信)
収 入:200,000 円
支 出:800,000 円
- ② 新型ウィルスの影響により企業の採用スタイルや柔軟な働き方への対応など急速に変化する中で、会員企業ならびに大学生を対象にした「人材採用と柔軟な働き方に向けたテレワークの活用事例セミナー」を実施した。(参加:29 名)
講 師:鈴木聖子氏(共立アイコム(株)人事部長、杉山孝氏(株)しずおかオンライン取締役、宇賀田栄次氏(静岡大学学生支援センター教授)

実施日:2020年12月10日
会 場:Webexによるウェブセミナー
支 出:120,000円

(4) 会議交流事業

会議及び事業企画打合せ(企画)開催実績

会議は①通常総会、②理事会、③運営委員会、④事業部会を適宜開催した。

① 総会

5月29日…通常総会

② 理事会、交流会(開催なし)

4月21日…理事会【リモート】

5月19日…理事会【リモート】

6月23日…理事会【リモート】

7月28日…理事会【リモート】

9月29日…理事会【対面】

10月27日…理事会【対面】

11月24日…理事会【対面】

12月15日…理事会【リモート】

1月26日…拡大理事会【リモート】

2月16日…理事会【リモート】

3月23日…拡大理事会【リモート】

③ 運営委員会・事業部会

6月23日…運営委員会【リモート】

7月28日…運営委員会【リモート】

8月29日…運営委員会【リモート】

9月29日…運営委員会【対面】

10月27日…運営委員会【対面】

11月24日…運営委員会【対面】

12月15日…運営委員会【リモート】

1月26日…拡大運営委員会【リモート】

2月16日…運営委員会【リモート】

3月23日…拡大運営委員会【リモート】

(5) 地域連携事業

① JISA(情報サービス産業協会)の会員として活動し、地域高度化事業助成に静岡大学との共同事業で「オブジェクト指向設計講座」の「デザインパターン入門編」及び「テスト設計とテスト駆動開発入門編」で応募して採択された。

収 入:300,000円

支 出:250,000円

② 他組織の企画を協会員に紹介して参加を促す等の情報提供や事業協力を実施。

(6) 広報事業

①HP プロバイダー料: 66,000円

②HP 運用管理・コンテンツ保守: 587,920円

2. 会員数(2021年3月末)

74 会員

会員種別内訳

ICT 会員:35

一般会員:22

個人会員:1

会費免除会員:16

II. 2020年度決算報告

2020 年度決算報告書

期間:自 2020 年 4 月 1 日
至 2021 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人静岡情報産業協会
静岡市葵区羽鳥7丁目6番37号

監査報告書

2019 年度特定非営利活動法人静岡情報産業協会の収支決算書、貸借対照表及び財産目録を監査した結果、正確妥当であることを認めます。

2021 年 月 日

監事 _____

監事 _____

第2号議案 2021年度事業計画(案)及び事業予算(案)

I. 2021年度事業計画(案)

自:2021年4月1日

至:2022年3月31日

1. 事業計画の概要

協会は2016年度より、組織活性化委員会を中心に事業活動の見直しを図り、協会の期待に応えるための活動形態を「人材育成・教育研修」、「ビジネス・マッチング」、「人材開拓推進」のそれぞれの事業の展開を担う部会として組織し、各事業部会が主体となって会員の要望を汲み上げてきめ細かく事業を展開してきた。

令和元年度には、NPO法人化以前から続いていた事務局体制も一新し、昨年度は任意団体として創立以来30周年を迎え、今後創始の精神をベースに、「情報の産業化・産業の情報化」に資する事業展開を進めた。

ところが、記念すべき30周年を迎えるとき、図らずも「コロナ禍」という世界規模のパンデミックの襲来により、これまで世界に後れをとっていたICT分野の推進にも俄然加速度が増している。

この静岡市もデジタル推進に舵を切り、静岡商工会議所会頭からも静岡市に対するデジタル化推進要請が発せられるなど、デジタルトランスフォーメーション(DX)化に追い風が強まっている。

そこでSIIAとしても、中長期事業となる部会活動で5年目となる本年度を前にして、昨年度末には3部会長と理事役員が議論を重ね、今後3年間を見据えた「SIIAアクションプラン2021」としてまとめ上げ、年度冒頭に宣言を行うことになった。

また、「人材育成・教育研修部会」は、部会の特性を活かしDX時代における新たな技術や今後のICT業界の方向性を示唆する講師陣を招聘してセミナー、研修会を開催し、会員各層にとって有用な最新情報の提供や技術者の技術力向上に役立てる。当協会の特色の一つでもある、地元の大学、専門学校などとの提携効果の成果も表れてきた。本年度もその関係を保ち更なる強化を図り、地域や業界が抱える課題の解決や、地域全体の教育/研究力を高めることを目的に、会員企業の技術者育成研修を継続する。

さらに、同部会事業として定着をしていた海外視察研修事業については、昨年度コロナ感染症の影響を受け断念する結果となり、今年度も見通しが立たない。そのため国内に視野を転じて、先進事例など学ぶべき候補地域も視野に入れつつ対象を広げて最終的な判断を行う。

次に、「ビジネス・マッチング部会」では、会員相互及び地域との交流を深め新たなビジネスの機会創生を図る機会を増やすことを目的に活動を推進した。会員企業が保有する自社の得意技術やサービスなどを発表し、そこから相互交流を発生させる試みを2019年度から始めてきた。

その後、コロナ禍によりリアルな場所での交流会の創設が困難となり、遠隔会議方式による会員交流の方法に切り替えてノウハウの蓄積も進めることができた。

そこで本年度は、その結果を踏まえてリアルな場あるいはリモートのいずれでも可能な体制を用意し、更なる交流成果の向上を求めていく。

これと並行して、かねてより懸案であった会員企業の「わが社の一押し」をテーマにした、各社の特長や特性を訴求するサイトを立ち上げる。新たに構築する「会員交流サイト」に各社のコンテンツを公開し、会員交流会を通じて会員同士の知り合う機会を深め、そこから新たなビジネスチャンスが創出することを狙いとする。

また、静岡商工会議所との意見交流に端を発した「小規模事業者向け業務アプリ作成」に関する研究会「Kintone Café」も実績を積み重ねてきた。その結果、本年度は協会会員が保有する技術やノウハウを提供し、商工会議所会員等小規模事業者が抱える課題解決策に対して、当協会独自の具体策を提案できるような体制づくりを目指す。

一方、ICT 業界においても慢性的な人材不足の問題を抱え、その解決のための事業を中心に活動している「人材開拓推進部会」では、本年度も継続して同様のテーマにより地域の ICT 企業の人材確保をテーマに活動する。

昨年からのコロナ禍による影響を逆手に取り、対面セミナーと比較して学生と企業相互に時間・空間的効果の大きい Web セミナーを活用する。併せてこれまで積み上げてきたインターンシップ事業のノウハウを活かし、リモート会議方式も視野に入れ、ICT 企業の魅力と仕事のやりがいを知る機会を提供する企画を実施する。

また、一般社団法人情報サービス産業協会(JISA)の地域連携事業募集には本年度も応募して地域ビジネス活性化に資する活動を活発化する。

さらに、例年通りの地域連携事業に参加協力に加え、静岡市との連携も深める。ICT 推進課からデジタル推進課に窓口は替わるものの、昨年度から模索を続けてきた協働事業「(仮称)CIVIC TECH 静岡」の実現に向けて、地域のニーズ調査から SIIA 会員等の参加によるアプリ作成などの成果を目指す。

2. 事業の骨子

以上を踏まえ、当協会今期事業を次のように計画する。

(1)人材育成・教育研修部会の事業

- ① 通常総会開催時に講師を招き講演会を開催する。
 - ・実施時期:2021 年 5 月 21 日
 - ・開催場所:静岡商工会議所 5 階ホール
 - ・経費予算:10 万円

- ② 視察やヒアリングを通して ICT 業界の最先端情報を収集する。
 - ・実施時期:2021 年 6 月～令和 4 年 2 月
 - ・開催場所:未定
 - ・実施内容:ICT 関連企業あるいは地域を訪問し、業界最先端技術情報収集
 - ・収入予算:90 万円
 - ・経費予算:100 万円

- ③ 地域 ICT 企業の地力向上のための技術研修事業を、静岡大学の協力を受けて実施する。
 - ・実施時期:2021 年 8 月～9 月
 - ・予定人数:20 人
 - ・開催場所:静岡大学
 - ・収入予算:60 万円
 - ・経費予算:108 万円

- ④ これからの IT 技術者に必要なスキルをピックアップし、ICT 最新技術向けのビジネス講座を実施する。
 - ・実施時期:2021 年 11 月
 - ・開催場所:静岡市産学交流センター等(未定)
 - ・収入予算:40 万円
 - ・経費予算:60 万円

- ⑤ 会員からのニーズに応じたセミナーを実施する(2回)。
 - ・実施時期:2021 年 7 月、2022 年 2 月
 - ・開催場所:静岡市産学交流センター等(未定)
 - ・収入予算:20 万円
 - ・経費予算:30 万円

- ⑥ 高校生向け ICT 講座を開催する。

・経費予算:20 万円

(2)ビジネス・マッチング部会の事業

- ① 会員企業の自社の得意技などの発表機会を活用し、会員企業交流セミナー及び会員交流会を開催する。

・開催時期:2021 年7月～2022 年 2 月の間で 4 回

・開催場所:静岡商工会議所会議室

・収入予算:10 万円

・経費予算:40 万円(昨年度未執行額 20 万円を含む)

- ② 会員企業交流サイトの制作およびウェブサイト上への公開

・SIIA 会員交流ウェブサイト公開用の動画を含むテンプレートの作成

・各社から提供されたコンテンツを SIIA ウェブサイトの特設サイトに公開

・会員交流会を活用した情報交換会、自社アピールセミナーなどを開催

・開催期間:2021 年 4 月～2 月

・経費予算:90 万円(昨年度未執行額 40 万円を含む)

- ③ 「Kintone Café」を開催し、参加者と小規模事業者向けアプリ開発を試行する。

・実施時期:2021 年 7 月～令和 4 年 2 月

・経費予算:20 万円

(3)人材開拓推進部会の事業

1. 合同就職フォーラムの企画・立案

- ① 新規学卒者向けに、会員企業による Web セミナー開催し学生の業界に対する理解度

を深める。

・収入予算:20 万円

・経費予算:90 万円

2. インターンシップ制度の企画・立案

- ① 会員企業の合同インターンシップ制度を実施する。

- ② ICT 業界では、インターンシップ受け入れも実際の現場での体験が難しいため、従来型を一新し、学生の満足度を高める。

- ③ インターンシップ制度を「採用目的主体」を改め、「学生との接点増やし、業界知識を深めさせることにより、業界全体の応募者を増加させる」ものとしていく。

・経費予算:40 万円

3. 県外地域の教育機関と静岡出身学生の就職動向情報交換会を実施し、更には当協会会員の求人情報を直接発信して、翌年度の求人活動の一助とする。

・経費予算:3 万円

(4)調査研究・交流促進の事業

- ① 総会時会員交流会を実施する。

・開催時期:2022 年 5 月 24 日(総会および講演終了後)

・開催場所:静岡商工会議所

・参加人数:50 人

・経費予算:12 万円

- ② 理事交流会を実施する
 - ・収入予算:12 万円
 - ・支出予算:12 万円

- ④ 総会・理事会・運営委員会・WG 等の会議開催費
 - ・経費予算:22 万円

- ⑤ 必要な情報収集には WG メンバーを他地域視察に積極的に派遣し、助言・提言の情報量を増す。

(5) 地域連携事業

- ① 地域の団体・機関の実施する事業等に協力する。
 - i. 協会員への情報提供のため(一社)情報サービス産業協会(JISA)の入会継続
 - ・経費予算:25 万円
 - ii. JISA「地域連携事業」プログラムに参加する。
 - ・収入予算:30 万円
 - iii. 静岡商工会議所「情報文化部会」に参加協力する。
 - iv. IT 推進協議会に参加協力する。
 - v. 静岡市(デジタル化推進課)との連携事業「(仮)CIVIC TECH」に参加協力する。
 - ・経費予算:130 万円(昨年度未執行額 90 万円を含む)

- ② 西部／東部ベンダー企業組織と活動を連携する。

(6) 広報事業

- ① 会員に対する情報提供(Web 広報、パンフレット作製、HP・サーバー管理等)
 - ・経費予算:65 万円

Ⅱ. 2021年度事業予算(案)

第3号議案 役員選任の件

(1) 理事の候補者は次のとおりであります。

氏名(五十音順)	所属と役職
稲葉豊穂	静岡商工会議所 中小企業相談所 所長
宇賀田栄次	国立大学法人静岡大学 学生支援センター 教授
漆畑晃司	(株)エル・ティー・エス ITSM Outsourcing 部 部長
北川幹根	西日本電信電話(株)静岡支店 ビジネス営業部 部長
久保田光二	(株)静鉄情報センター 代表取締役社長
小林裕敏	(株)共立アイコム 取締役
齊藤弘幸	(株)コサウエル 代表取締役社長
鈴木裕	(株)静岡情報処理センター 代表取締役社長
日詰一幸	国立大学法人静岡大学 学長
村松克己	(株)電算インフォメーション 代表取締役社長
森永春二	(株)浜名湖国際頭脳センター 代表取締役社長
山口俊一	静銀 IT ソリューション(株) 取締役執行役員
渡邊治彦	(株)SBS 情報システム 代表取締役社長
<選任中>	(株)ユニテック 代表取締役社長

以上 14 名

候補者と当協会の間には特別の利害関係はございません。

(2) 監事の候補者は次のとおりであります。

氏名(五十音順)	所属と役職
上田和博	鈴与システムテクノロジー(株) 監査役
小谷勇	前 NPO 法人しずおかコンテンツバレー推進コンソーシアム 理事長
吉兼正哲	静岡ガス・システムソリューション(株) 代表取締役社長

以上 3 名

候補者と当協会の間には特別の利害関係はございません。